

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



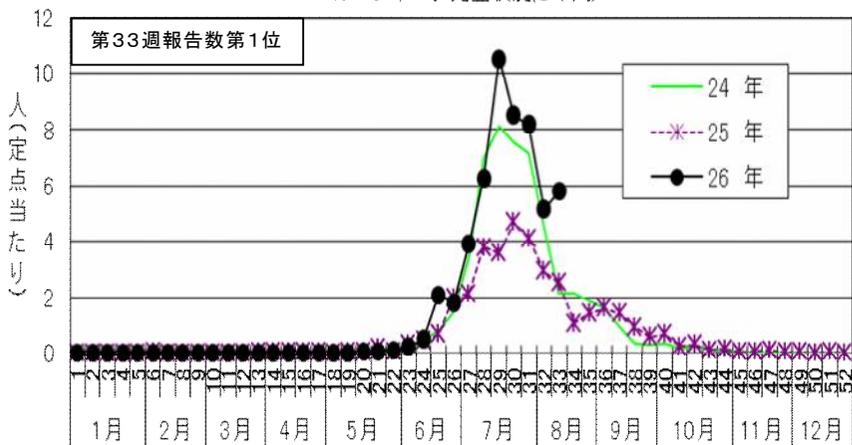
KAWASAKI CITY

平成26年8月11日（月）～平成26年8月17日（日）〔平成26年第33週〕の感染症発生状況

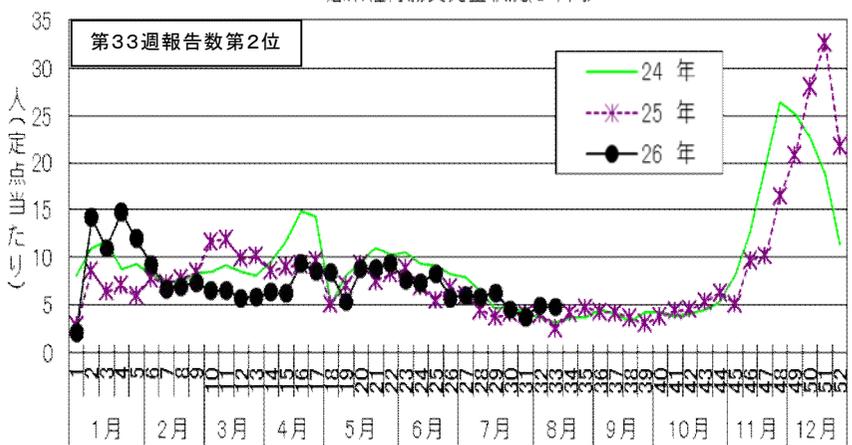
第33週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)水痘・手足口病でした。
 ヘルパンギーナは定点当たり5.80人と前週（5.16）より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎は定点当たり4.65人と前週（4.81）より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。
 水痘は定点当たり0.65人と前週（0.50）から患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 手足口病は定点当たり0.65人と前週（0.97）から患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



西アフリカで流行中！～エボラ出血熱～

2014年3月以降、西アフリカのギニア、シエラレオネ、リベリアを中心に「エボラ出血熱」が流行しており、世界保健機関（WHO）は平成26年8月8日、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言しました。日本では、現時点で過剰な心配をする必要はありませんが、流行地への不要不急の渡航は控えましょう。

エボラ出血熱ってどんな病気？

感染経路

エボラウイルスに感染し、症状が出ている患者の体液等（血液、分泌物、吐物・排泄物）や患者の体液等に汚染された物質（注射針など）に十分な防護なしに触れた際、ウイルスが傷口や粘膜から侵入することで感染します。

潜伏期間：2～21日

症状

突然の発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、咽頭痛等の後、嘔吐、下痢、胸部痛、出血（吐血、下血）等の症状が現れます。

治療方法

ワクチンや特異的な治療法はなく、患者の症状に応じた治療（対症療法）を行います。

エボラ出血熱の発生状況(2014年8月13日現在)

	新たな患者数※	確定患者数	可能性のある患者数	疑いのある患者数	国別総数
ギニア	患者数 9 死亡者数 3	376 245	133 133	10 2	519 380
リベリア	患者数 116 死亡者数 58	190 154	423 190	173 69	786 413
ナイジェリア	患者数 0 死亡者数 1	11 4	0 0	1 0	12 4
シエラレオネ	患者数 27 死亡者数 14	733 309	38 34	39 5	810 348
総数	患者数 152 死亡者数 76	1,310 712	594 357	223 76	2,127 1,145

※2014年8月12日から8月13日までの期間に報告された新たな患者数
 出典：厚生労働省検疫所ホームページより



エボラ出血熱は、一般的に、症状のない患者からは感染せず、空気感染もないといわれています。
 病気に関する正しい知識を持ち、しっかりとした対策を行うことで、感染を防ぐことができます。

